

トピックス

堺市博物館 特別展「堺緞通ものがたり」に
資料を提供
住江織物株式会社

☺☺☺☺ (HP 寄稿通算回数)

2017 年秋、堺市博物館（大阪府）にて、特別展「堺緞通ものがたり ー日本の緞通、世界を結ぶー」が開催されました。

「緞通（だんつう）」とは、中国から伝来し、日本で独自に発展した手織りの絨毯のことで、江戸時代に佐賀で生まれた鍋島緞通、江戸時代後期に堺で生まれた堺緞通、明治時代初期に赤穂で生まれた赤穂緞通の3つが広く知られています。明治期には日本の一大輸出産業として興隆した緞通ですが、徐々に生産高が減り、今は限られた職人がその技術を守っています。



【会場の様子】(写真提供：堺市博物館)

本展ではそうした日本の緞通の歴史を振り返りながら、堺緞通の技術と文化が紹介され、当社から提供した織機も展示されました。

当社は、1883 年、住吉村（現・大阪市住吉区）で米屋を営んでいた創業者・村田伝七が、当時、緞通の製造が盛んだった周囲の状況に刺激され、織機 3 台で製織を始めたところからスタートしました。今年で創業 135 年を迎えますが、今なお祖業である緞通の製造をグループ会社の丹後テクスタイルで続けています。

緞通の製造は大変時間と手間がかかる作業ですが、完成品の手織りならではの品質は機械では再現できません。住江織物グループでは、堺緞通の流れを汲む手織り技術を継承し伝統を守っていききたいと考えています。



【堺緞通織機（1947 年以前のもの）】
（住江織物（株）蔵）